

# 住民不安が続く東北油化跡地



ひろの 富男 議員(市民クラブ)

**質問** 東北油化跡地を同業者が取得したとの噂は本当か。

**市長** 県を通じ破産管財人に確認したが、現時点ではその事実はない、複数の同業者が買入れに関心を示しているが、いずれも正式な申し出はない。買入れが決まった場合は、住民代表、県、市などで協議体制を再構築し、情報共有しながら周辺住民の不安解消に努める。

## 人口対策 来年スタート

**質問** 早稲田大学生らによる「結婚支援の具体的施策」提案をどう反映するのか。

**市長** 人口推計の分析結果、2040年には8万6千人となり、山間部においては約半減する見込み。高齢化率も39%に達する見込みで危機的状況に陥る。今回早稲

田大学生から少子化対策をテーマとした有意義な提案を受けた。ビジョン策定の大切な素材として取上げる。本市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を12月までに策定し、平成28年度当初から実施できるよう鋭意努力する。

## 岩手一一八号の主産地に

**質問** 岩手オリジナル水稲の新品種「岩手一一八号」の種子圃場誘致と主産地として位置づけられるよう県への働きかけは。

**市長** 早々に生産拡大を目指したいが、作付面積が限定されている。県の方針に基づき、販売戦略を含めJ-Aと協議しながら進めたい。質問趣旨については生産対策会議の席上で県などに働きかける。

(このほか、胆沢統合中学校不動産取得等に関わる公共事業の契約など行政事務の問題を質した。)



交流人口の増加に期待されるグリーンツーリズム活動

**質問** 舗装を含め、道路の整備を

市民との協働で行う手法を制度化

する考えは。

**市長** 市が建設資材を



協働での道路整備 (長野県における取組み)

提供し、地域から労力の提供を受けて、道路整備をする手法については「おうしゅうのみちを守り育てる協定」の内容の充実を考えたい。

農道のコンクリート舗装から始めてみる予定である。協働型の道路整備の手法を制度化し、周知していくことを考えていきたい。

**質問** 道路舗装の要望は、圃場整備事業で創設された道路について特に多い。方策を考えるべきである。

**市長** 圃場整備事業と道路整備計画の調整を図るため、今年度から道路整備担当者を計画策定の段階から派遣している。

## 窓口サービスの充実を

**質問** 窓口サービスに対する市民要望などの把握はどのようにしているか。また部署間での討議などは、定期的に行われているのかどうか。

**市長** これまでは、ホームページや提言箱を活用してきている。苦情等があれば、その都度、関係部署に連絡している。

**質問** 窓口については、来やすい、話しやすいといった、市民にとって気持ちのいい空間であってほしい。市民目線で常に良くしていく工夫が必要である。

**市長** 苦情処理的なことだけではなく、満足度を上げていくための調査、仕組みづくりが必要と考える。

## 道路整備を協働の力で



いざか 一也 議員(公明党)